

Microsoft Office Excel 2019 Manual

1. 基本的な操作
2. データの入力と編集
3. グラフの作成と編集
4. 関数の使い方
5. **ピボットテーブルの使い方**

ピボットテーブルとは

ピボットテーブルは、互いに関連し合う統計を比較する時に使用されます。

特に、集計する値の数値が多く、各値について複数の要因を比較する時に効果的です。

また、小計や総計を計算をする際にも使用されます。

■ ピボットテーブルの特徴

大量のデータを簡単に集計できる。

集計結果を異なる観点から分析できる。

関心ある項目の詳細を表示できる。

データの切り替えが楽にできる。

新規作成

新規ピボットテーブルの作成手順は以下の通りです。

- ① 使用するデータの範囲を選択します。
- ② 挿入タブ→テーブルグループの**ピボットテーブル**を選択します。

The screenshot shows the Microsoft Excel interface. The 'Insert' tab is active, and the 'Tables' group contains the 'PivotTable' icon, which is highlighted with a red box and a circled '2'. Below the ribbon, a data table is visible, with a range of cells from A3 to G23 highlighted by a red border and a circled '1'.

	A	B	C	D	E	F	G
3	理工学部	2回生	男	170	52	18.0	63.6
4	農学部	1回生	女	156	46	18.9	53.5
5	社会学部	3回生	男	164	50	18.6	59.2
6	農学部	3回生	男	183	57	17.0	73.7
7	農学部	2回生	女	165	49	18.0	59.9
8	理工学部	4回生	男	159	56	22.2	55.6
9	社会学部	4回生	女	160	48	18.8	56.3
10	社会学部	1回生	男	169	59	20.7	62.8
11	理工学部	3回生	男	175	67	21.9	67.4
12	農学部	2回生	女	146	37	17.4	46.9
13	農学部	1回生	女	157	40	16.2	54.2
14	理工学部	その他	男	165	53	19.5	59.9
15	社会学部	その他	女	152	50	21.6	50.8
16	社会学部	2回生	女	157	39	15.8	54.2
17	農学部	3回生	男	164	57	21.2	59.2
18	農学部	2回生	女	160	42	16.4	56.3
19	社会学部	4回生	男	189	64	17.9	78.6
20	理工学部	4回生	男	173	51	17.0	65.8
21	理工学部	1回生	女	161	45	17.4	57.0
22	その他	2回生	女	152	43	18.6	50.8
23	社会学部	4回生	女	156	37	15.2	53.5

③ ピボットテーブルの作成ボックスが開きます。

【分析するデータを選択してください】で、データの範囲を選択します。
今回は①でデータの範囲を選択しているので、そのまま進んでください。

ピボットテーブルの作成

分析するデータを選択してください。

テーブルまたは範囲を選択(S)

テーブル/範囲(T):

外部データソースを使用(U)

接続名:

このブックのデータ モデルを使用する(D)

ピボットテーブル レポートを配置する場所を選択してください。

新規ワークシート(N)

既存のワークシート(E)

場所(L):

複数のテーブルを分析するかどうかを選択

このデータをデータ モデルに追加する(M)

※ 選択範囲が間違っていたり、新しく範囲を指定したりする時は、ダイアログ内の範囲の隣にあるボタンをクリックして、範囲を指定してください。

【ピボットテーブルレポートを配置する場所を選択してください】で、配置場所を選択した後に、ピボットテーブルの作成先を指定します。今回は新規ワークシートを選択して、OKをクリックします。

ピボットテーブルの作成

分析するデータを選択してください。

テーブルまたは範囲を選択(S)

テーブル/範囲(I): 元データ!\$A\$2:\$G\$32

外部データソースを使用(U)

接続の選択(C)...

接続名:

このブックのデータモデルを使用する(D)

ピボットテーブルレポートを配置する場所を選択してください。

新規ワークシート(N)

既存のワークシート(E)

場所(L):

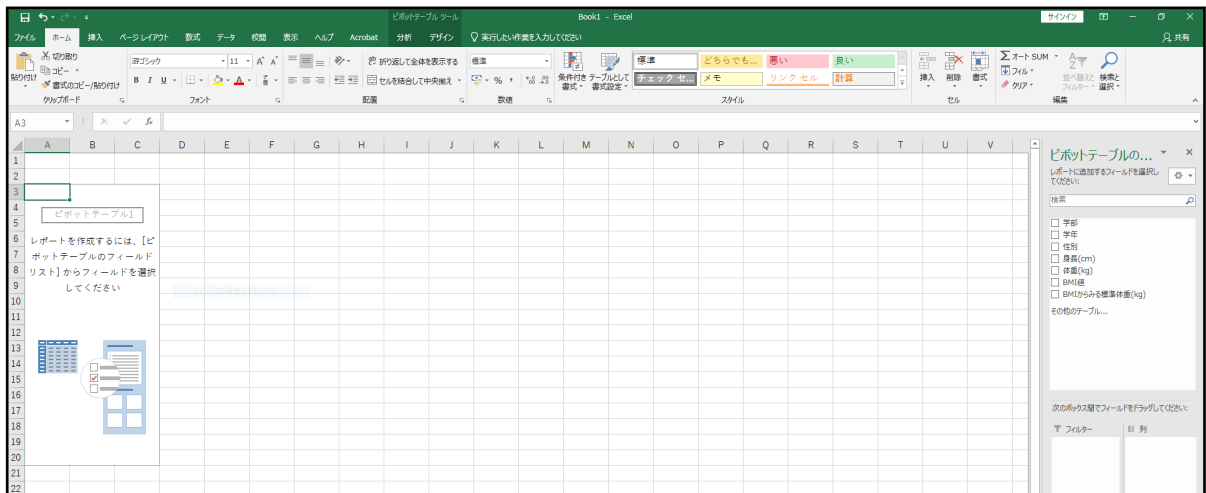
複数のテーブルを分析するかどうかを選択

このデータをデータモデルに追加する(M)

OK キャンセル

- 新規のワークシート
新しいシートを作成し、そこにピボットテーブルを配置します。
- 既存のワークシート
既にあるワークシート上にピボットテーブルを配置します。

- ④ 新しいシートが作成され、そこにピボットテーブルが配置されました。



以下が新たに表示されます。

ピボットテーブル1(実際にピボットテーブルが作成される場所)

ピボットテーブルツールの分析タブ・デザインタブ

ピボットテーブルのフィールドリスト

※ ピボットテーブルのフィールドリストは、ドラッグして動かすことができます。表示されていない場合は、ピボットテーブルを一度クリックしてください。

使用方法

■ 学部ごとに男女の人数を集計する

- ① ピボットテーブルのフィールドリストにある学部のデータを、行ラベルにドラッグ&ドロップします。
- ② ピボットテーブルのフィールドリストにある性別のデータを、列ラベルと値にドラッグ&ドロップします。

以下のようなピボットテーブルの表が完成します。

データの個数 / 性別	列ラベル			
行ラベル	女	男	合計	
その他		1		1
社会学部		6	5	11
農学部		7	3	10
理工学部		2	6	8
総計		16	14	30

ピボットテーブルのフィールドリスト

レポートに追加するフィールドを選択してください:

検索

学部
 学年
 性別
 身長(cm)
 体重(kg)
 BMI値
 BMIからみる標準体重(kg)

その他のテーブル...

次のボックス間でフィールドをドラッグしてください:

▼ フィルター

≡ 列

性別 ▼

≡ 行

学部 ▼

Σ 値

データの個数 / ... ▼

レイアウトの更新を保留する

更新

■ 学部ごとの集計を 学年ごとの集計に変更する

- ① 行ラベルの学部を
クリックし、
フィールドの削除を
選択することで、行ラベルの
内容を消すことができます。



- ② 新たに、ピボットテーブルのフィールドリストにある学年のデータを、行ラベルにドラッグ&ドロップします。

2

以下のように変更が完了します。

3	データの個数 / 性別	列ラベル			
4	行ラベル	女	男	総計	
5	1回生		3	3	6
6	2回生		8	1	9
7	3回生		2	4	6
8	4回生		2	5	7
9	その他		1	1	2
10	総計		16	14	30

ピボットテーブルのフィ...

レポートに追加するフィールドを選択してください:

検索

- 学部
- 学年
- 性別
- 身長(cm)
- 体重(kg)
- BMI値
- BMIからみる標準体重(kg)

その他のテーブル...

次のボックス間でフィールドをドラッグしてください:

▼ フィルター

≡ 列

性別

≡ 行

学年

Σ 値

データの個数 / ...

レイアウトの更新を保留する

更新

■ 身長の単位幅を変更する

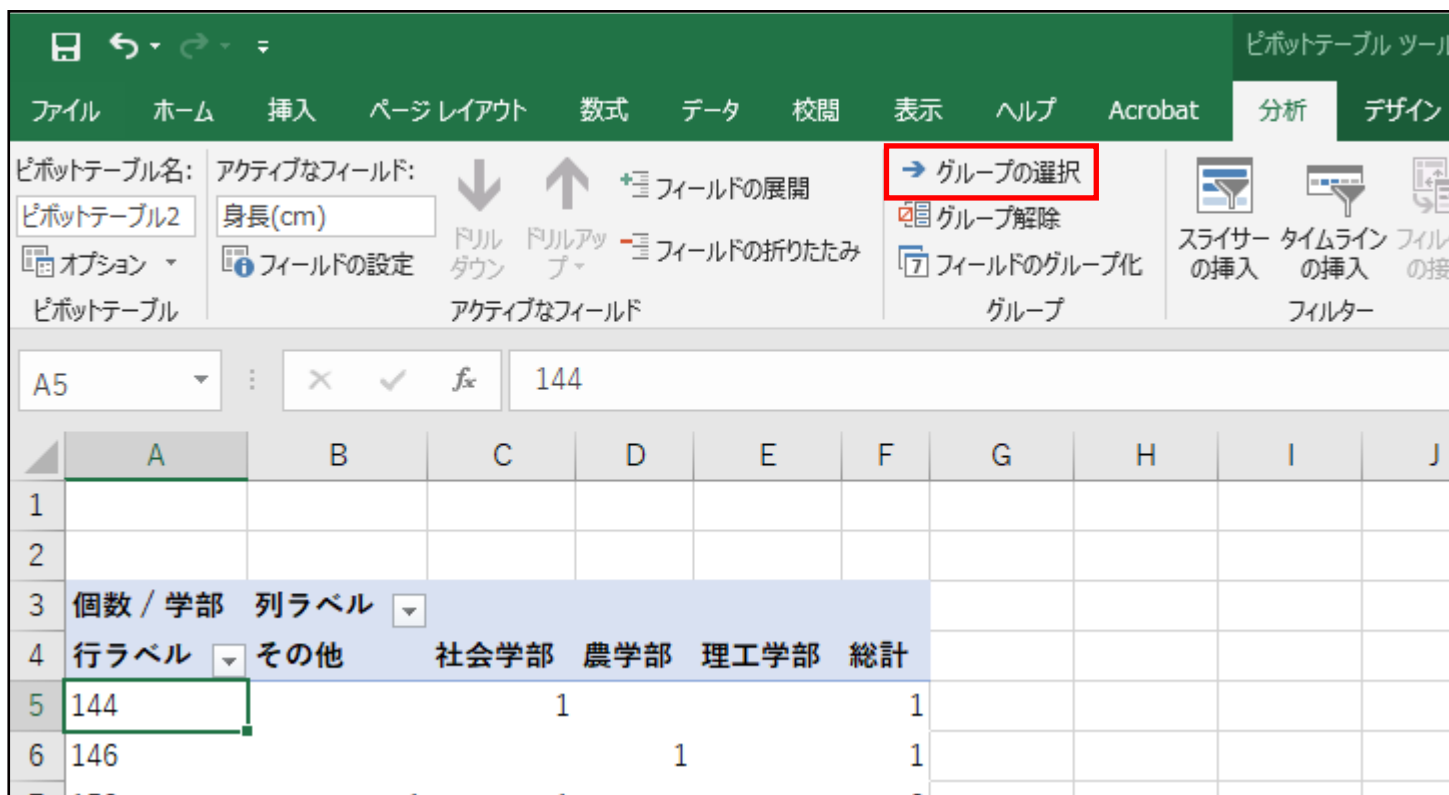
下図は行ラベルに身長、列ラベルと値に学部を入力した集計結果です。

このままでは身長の項目が多く見づらいです。

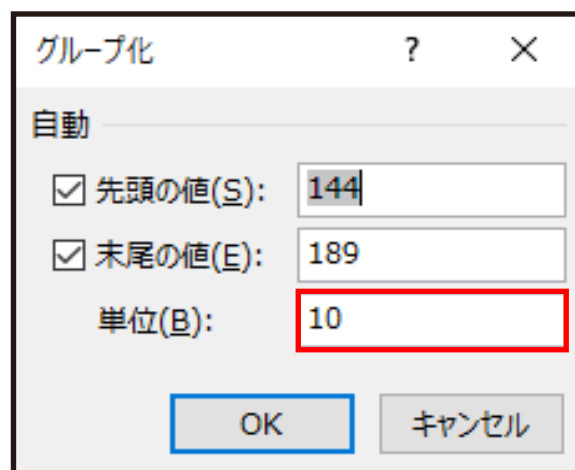
見やすくするために、身長を1cm単位幅から10cm単位幅に変更します。

3	データの個数 / 学部	列ラベル				
4	行ラベル	その他	社会学部	農学部	理工学部	総計
5	144		1			1
6	146			1		1
7	148		1			1
8	151			1		1
9	152	1	1			2
10	154			1		1
11	156		1	1		2
12	157		1	1		2
13	159				1	1
14	160		1	1		2
15	161				1	1
16	163		1			1
17	164		1	1		2
18	165			1	1	2
19	168		1		1	2
20	169		1			1
21	170				1	1
22	171				1	1
23	173				1	1
24	175			1	1	2
25	183			1		1
26	189		1			1
27	総計	1	11	10	8	30

- ① 行ラベルのセルを一つ選択して、
ピボットテーブルツール→分析タブ→
グループグループの**グループの選択**を
クリックします。



- ② グループ化ボックスが開くので、自動の単位を
10に変更して、OKを
クリックします。



③ 身長が10cmごとにグループ化されます。

3	データの個数 / 学部	列ラベル				
4	行ラベル	その他	社会学部	農学部	理工学部	総計
5	144-153	1	3	2		6
6	154-163		4	4	2	10
7	164-173		3	2	5	10
8	174-183			2	1	3
9	184-193		1			1
10	総計	1	11	10	8	30

※ この他にも、体重、BMI値の男女・学部・学年による傾向など、ピボットテーブルを利用することで様々な傾向がつかみやすくなります。さらに、つかんだ傾向から様々な分析を行うことも可能になります。